

ACTION

アクション REAR VIEW

リアビュー

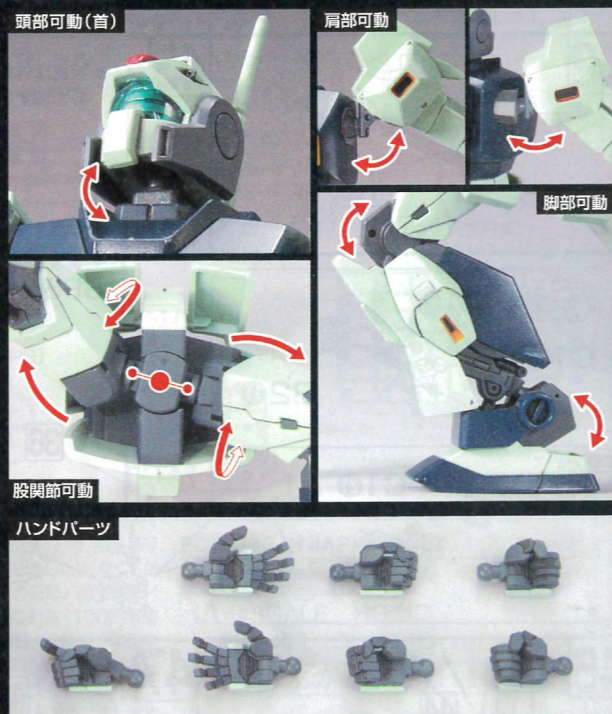


※画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。



DETAIL

ディテール



頭部可動(首)

肩部可動

脚部可動

股関節可動

ハンドパーツ

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。  
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。  
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●関節等:

ニュートラルグレー(90%)  
+ブラック(10%)

●腹レッド部等:

モンザレッド(100%)  
+ブラック(少量)

●胸部等:

ブルー(75%)  
+イエロー(25%)  
+ブラック(少量)

●頭部両サイド等:

ニュートラルグレー(95%)  
+ブラック(5%)  
+ブルー(少量)

●バーニア内側オレンジ部:

オレンジイエロー(95%)  
+レッド(5%)  
+ブラック(少量)

●頭部センサー等:

下地にシルバー(100%)  
+クリアグリーン(100%)

●胸部ダクト等:

イエロー(85%)  
+オレンジイエロー(15%)

●ジム・ライフルセンサー:

下地にシルバー(100%)  
+クリアオレンジ(100%)

# MSA-003 NEMO (UNICORN Ver.) E.F.F. MASS-PRODUCED MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MSA-003  
TOTAL HEIGHT : 18.5m  
WEIGHT : 36.2t  
GENERATOR OUTPUT : 1,620kw  
MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY  
ARMAMENTS :  
GM RIFLE  
60mm VULCAN GUN  
BEAM SABER  
SHIELD

機動戦士  
**ガンダムユニコーン**  
MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN



1/144 SCALE

HG  
UNIVERSALCENTURY

GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/  
Fees accrued by your communication and connection to the internet are  
under customer's responsibility.  
ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の責任となります。

BANDAI 2012 MADE IN JAPAN ●画像の完成品は塗装してあります。

0175331



## MSA-003 NEMO [UNICORN Ver.]

U.C.0087年に勃発した、地球連邦軍の内乱を端とするグリブス戦役。その一端であるエウゴに向け、AE(アナハイム・エレクトロニクス)社が開発を進めていた量産型モビルスーツ、RMS-108(マラサイ)は当時の政治的判断により、あろうことが敵対するティターンズに引き渡されてしまう。その代替機として、AE社はエウゴと共同開発を行い、ジム系の発展型となる新たな量産機を生み出した。それがMSA-003(ネモ)なのである。既に配備されていたRMS-179(ジムII)も同様の発展系機体ではあったが、旧式機に近代化改装を施した設計の(ジムII)に対し、当時の最先端技術の粋を凝らせた最新機体である(ネモ)とは、基礎スペックに歴然の差があることなど容易に想像がつくものであった。実際のところ、エウゴ側のモビルスーツであるRMS-099(リック・ディアス)やMSN-00100(百式)の生産データを経て、新規に設計が行われた本機の基本フレームは、宇宙空間はもとより、重力下の熱帯地域や寒冷地という、ありとあらゆる環境下での活動を可能とする汎用性を獲得し、前述の(マラサイ)によって確立されたガンダリウム<sup>ガンダリウム</sup>の量産化技術もまた、本機の装甲部材にさらなる高性能化とコストダウンを実現させる礎となったのである。AE社による複雑に入り組んだ政治的判断は、相対する両陣営の技術を(ネモ)へ取り入れる形となり、戦力の備蓄に乏しく、苦戦を強いられてきたエウゴを結果的に勝利へ導いた一因になったことは明らかであった。グリブス戦役において、もっともバランスの取れた量産型モビルスーツという呼び声も高い(ネモ)は、戦役終結後にエウゴから地球連邦軍へと所属を変え、さらなる後継機が開発されてもなお継続して運用されることとなる。U.C.0096年現在においてもその汎用性の高さから、主に連邦地上軍の軍事施設に配備されており、同年にジオン公国残党軍との交戦記録が残されている。

### バックバック

ジムIIと比較して明らかなる性能向上が認められた本機のバックバック、そして脚部のスラスタは、一年戦争末期に開発されたジムのスナイパータイプにも同様のレイアウトが採用されており、きわめて優れた設計であることがわかる。



### ビーム・サーベル

プラスマ状のビーム刃を発生させ、対象を溶断する白兵戦用兵器。リック・ディアスや百式などが採用したものと同等品であり、通常はリアアーマーのサーベルホルダーにマウントされている。

### 頭部60mmバルカン砲

多くの連邦軍モビルスーツが装備する標準的な基本武装は、ジム系の発展型である本機のヘッドユニットにも採用されており、近接戦闘時に最大限の効果を発揮する。

### SPEC

型式番号：MSA-003  
全高：18.5m  
本体重量：36.2t  
ジェネレーター出力：1,620kw  
装甲材質：ガンダリウム合金  
武装：ジム・ライフル  
60mmバルカン砲  
ビーム・サーベル  
シールド

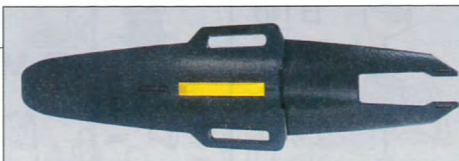
### 脚部フレーム

あらゆる環境下において十分な機動性を発揮できる本機の脚部フレームは、当初から地球降下作戦の運用も想定されていたことから、特に柔軟性と耐落下・衝撃性に配慮した構造が図られている。



### ジム・ライフル

一年戦争終結後に開発されたMS用携行火器であり、換装可能な実弾弾式汎用マシンガンのロングバレル仕様。有効射程の延長と高い集弾率を維持するこの組み合わせはジム・ライフルと呼称され、U.C.0096年においてもなお現役である。



### シールド

本機に専用開発された防御用武装。取り回しに配慮し、スライドによる伸縮が可能。シールド裏側にはオプションラッチが装備されており、上部先端は打突攻撃用途にも対応している。



### MSA-003 ネモ(ユニコーンVer.)

宇宙世紀0096年、地球連邦軍とネオ・ジオン残党軍「袖付き」による、「ラプラスの箱」を巡る戦いは激化の一途をたどる。その熱は、地球上に潜伏していたジオンの残党連にまで波及し、戦場はさらなる広がりを見せていく。――連邦の飼犬共が、なかなかどうしてやってくれるじゃないか。所詮は烏合の衆と高をくくっていたが、やはりそう簡単にはいかないようだ。タカールの中央議会という重要拠点にもかかわらず、配備されている連邦機体は旧式ばかりで、中には久方振りに出会うような機体さえあった。この時代、しかも地球上で、ジオンの襲撃がある可能性など欠片も想定していなかったのだから。今し方現れた奴らの増援も、カラーリングこそ改められてはいるが、(ネモ)とかいう10年近く前の量産機という始末だ。旧式を使わざるを得ない我々とは違って、

無能な上から数合わせのような機体しか与えられない向こうのパイロットには、一種の同情を禁じ得なかったのだが、どうもこいつらは勝手が違う。背後から飛び込んできた2体の(ネモ)は、反転する我々の動作を予見していたように懐深くへ着地し、さらにはその荷重を利用しながら、ビーム・サーベルで斬りつけてきやがった。これは反応が良かったの若い奴には到底無理な芸当だ。決して派手さはないが、長い間、シートを温め続けた奴のみが出来る動きに他ならない。そうだ、いくら組織が悪劣でも、その末端にいる兵はなんら関係なく、俺達と同様にパイロットとして生き抜き、そして積み重ねてきたのだ――ならば、こちらも相応の覚悟を持って当たらせてもらわないとな。

※画像はイメージです。

### HGUC

シリーズラインナップ

※この商品には、「HGUC ネモ(ユニコーンVer.)」が1セット入っています。

ジム系列の様々な機体でたどる、進化の歴史を確認せよ!!



一年戦争後期に生産されたジムのバリエーション機。  
HGUC No.046  
ジム・コマンド

後期型ジムをベースに白兵戦用に特化したカスタム機。  
HGUC No.072  
ジム・ストライカー

エースパイロット用に強化、調整されたジムの高性能機。  
HGUC No.120  
ジム・カスタム

第二次ネオ・ジオン戦争時の連邦軍主力量産機。  
HGUC No.097  
ジェガン

ユニコーンガンダムをサポートするジェガン系機体の上位機種。  
HGUC No.130  
ジェスタ

### ガンダム

「Episode 4」で活躍するMS達をHGUCで体感せよ!!



ザクIの長距離狙撃用に特化された機体。  
HGUC No.137  
ザクIスナイパータイプ(ヨム・カークス機)

グリブス戦役において開発された量産型モビルスーツ。  
HGUC No.138  
マラサイ(ユニコーンVer.)

一年戦争時にジャブロー攻略を目的として開発された特務モビルスーツ。  
HGUC No.139  
ジュアック(ユニコーンVer.)

「一年戦争」期のジムの戦後に改良した機体。  
HGUC No.131  
ジムII

「第一次ネオ・ジオン戦争」期の連邦軍の主力量産機。  
HGUC No.126  
ジムIII

※この商品には、「HGUC ネモ(ユニコーンVer.)」が1セット入っています。  
※画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

# 注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

# 《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがったところがありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

・接着をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側と同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ピスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・90度に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動きます

## パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

<b>A1パーツ</b> (スチロール樹脂: PS)	<b>A2パーツ</b> (スチロール樹脂: PS)	<b>B1パーツ</b> (スチロール樹脂: PS)	<b>B2パーツ</b> (スチロール樹脂: PS)
<b>C1パーツ</b> (スチロール樹脂: PS)	<b>C2パーツ</b> (スチロール樹脂: PS)	<b>Dパーツ</b> (スチロール樹脂: PS)	<b>Eパーツ</b> (スチロール樹脂: PS)
<b>SB-6パーツ</b> (スチロール樹脂: PS)	<b>MP-1パーツ</b> (スチロール樹脂: PS)	<b>PCパーツ</b> (PC-001A) (ポリエチレン: PE)	

●シール.....1  
※シール①は使いません。

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

### 1

※PC④が斜めにならないよう注意してはめ込んでください。

### 2

① (シール) A1⑨

② D③ (シール) D② (反対側に取り付ける)

### 3

※きれいに切り取ります。

A1⑪ A1⑫

C1⑮

C1⑯ (反対側に取り付ける)

### 4

PC⑨

C1⑪ (C2⑪)

×2 (2個作る)

### 5

③

④

### 6

⑤

②

### 7

(シール) B1⑮ (シール) B1⑯

(シール) B1⑰

(シール) B1⑱

### 8

⑦

E①

C1⑳ (反対側に取り付ける)

C1㉑

### 9

PC⑬

C1⑲ (C2⑲)

×2 (2個作る)

### 10

※きれいに切り取ります。

(B2⑫) B1⑫

A2⑲

×2 (2個作る)

### 11

※きれいに切り取ります。

(B2⑬) B1⑬

A2⑳

×2 (2個作る)

### 12

(B2⑭) B1⑭

PC①

×2 (2個作る)

### 13

(C2⑩) C1⑩

PC⑮

×2 (2個作る)

### 14

(B2⑱) B1⑱

B1⑰ (B2⑰) (後に組む)

PC⑤

×2 (2個作る)

〈下から見た図〉

### 15

B1⑮

B1⑯

⑫

⑬

⑭

### 16

MP-1⑨

B1⑪ (選んで取り付ける)

B1⑪ (後に組む) MP-1②

MP-1④

MP-1⑦

### 17

B2⑮

B2⑯

⑫

⑬

⑭

### 18

MP-1⑩

B2⑪ (選んで取り付ける)

MP-1③ (後に組む) B2⑪

MP-1⑥

MP-1⑧

